資料８

議事要旨

会議名称	千代田区都市計画審議会（第１回）
日　時	平成 30 年 7 月 10 日（金）10：00～12：00
場　所	千代田区役所 8 階第 1 委員会室
会議次第	１．開　会 ２．会長選出、会長職務代理の指名 ３．議　題 【報告案件】 都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 18 条の２に規定する千代田区の「都市計画に関する基本的な方針（千代田区都市計画マスタープラン）」の改定について（諮問） ４．そ の 他 ５．閉　会

＜議事概要＞

【区長挨拶】

○ 委員の任期中は**都市計画マスタープランの改定**という重要な案件をご審議いただく。

○ 千代田区は**多様性**と**代表制**を兼ね備えた地域である。

○ 千代田区ほど、政治・行政・経済・文化等**多様な機能が高度に集積**している都市はない。**常に成長し、変化しする生きた都市**を相手にする千代田区の都市計画である。そこに、人々の生活がるある。**活発な都市活動と暮らしとの調和**、経済性と安全で安心・快適な**環境、自然、景観、コミュニティ**との調和が重要。それがさらに**都市の価値を高め、地域の活性化**につながる。

○ また、まちは創っておわりでない。そこがスタートである。まちをどのように育てていくか、それが本来のまちづくりである。「**都市を創り、そして育てる**」それが私の基本的な認識である。

【委員（区議会議員）】

○ **スポーツ都市や環境**など**ソフト面からの成果検証、分析も必要**ではないか。

○ 現行の都市マスでは出張所地区行政区分による地域別で課題をあげているが、例えば**「神田川」といった軸**、**地形**など実態に近いまちの区分で考えた方が良いのではないか。

○ 現行都市マスを作成した時のように、まちづくり方針のような**前段の方針作成**はしないのか。また、**まちづくり懇談会**のような地域との連携を図る検討体制は作らないのか。

⇒事務局：現行都市マスには普遍的な考えもあるそれを踏まえながら改定をしていく。地域との連携については、節目節目で、パブコメや説明会、個別の意見聴取などを行う予定。

○ 中間のまとめまで都計審が２回しかないため、議論が尽くせないのではないか。**区民の関与の機**

会を十分に確保すべき。

⇒事務局：中間のまとめは、分野別におけるとりまとめと優先課題の抽出である。部会や庁内の検討会もあるため、十分に検討したい。

○ 都市計画法に規定する「**あらかじめ、区民の意見を反映させるために必要な措置**」の「あらかじめ」の考え方として、いつ区民に対して措置を行うつもりなのか。

⇒事務局：**素案・案を決定前に公聴会等を行う**と理解している。今回はさらに、**分野別、地域別といった節目節目に、区民の等の意見を反映させるための必要な措置**を行うことできめ細かい対応となるようなスケジュールとしている。

○ 「**地区別容積充足率**」「**６０m以上の超高層ビルの分布と集中**」「**駅の混雑**」「**上下水道の現状と課題、キャパシティ**」「避難所」「幼稚園の状況」「ＬＲＴ、水上交通、自転車」「**マンション建替、維持管理**」「**耐震化の地区別の状況**」「**地区計画の検証**」といったデータを集めてほしい。都市計画基礎調査等のデータを活用するべき

⇒データは、可能な範囲で集めるが、詳細については、個別に回答し、審議会で共有したい。

○ 住民等に対する説明会をきめ細やかに行うべき

⇒事務局：パブコメや公聴会を**節目に行う**、個別のヒアリングなど必要に応じて行っていく。

○ 都市マスを改定するにあたり、**現在動いている地域との整合性**をどう図るか

⇒事務局：現在動いている開発は**現行都市マスの範囲**であると認識している。

○ 単純に人口が増という点だけでなく、**昔からの住民が住み続けられているか**という点を見るべき

○ ビル風で使えない**公開空地**があるので、現実の姿を照らして計画を検討すべき

【委員（区民）】

○ 現行の都市マスとまちの実態のかい離を検証する必要がある。10 年住んだだけでも、まちなみは大分変っている。**20 年先を見据えた計画で社会変化に対応できるのか**

⇒事務局：現行都市マスにも、必要に応じた見直しについての記載がある。現行都市マスの計画期間では、まちづくりグランドデザインなどを通じて、まちの動きに対応示した。今後は、**見直しが必要であれば見直しができるような仕組みづくりを検討**していく。

○ **新旧住民のコミュニティの場**や、**中小ビルの老朽化や利用の状況や検証**をしてほしい。地域のことを考えている開発事業者とそうではない開発事業者がいるので、そういった点も把握してほしい。また、**ビルオーナー**からの声をきくべき

⇒事務局：**中小ビルにおける機能更新の在り方は、優先的な課題**だろうと認識しているため、検討したい。

【委員（学識経験者）】

○ 都市マス改定にあたり住民参加はもちろんだが、**昼間区民や企業についても参加**してもらう必要

がある。

○ **地区別の年代別建物棟別データ**については防災のためにも必ず必要である。

⇒事務局：課税区分などが難しいようであれば、建築計画概要書など**様々な情報を収集**していく。

○ 現行都市マスでは、「定住人口回復」という通底する考え方があった。改定に当たりこうした考え方を整理すべき。「**災害に強い都市**」を目指すことなどがふさわしいのではないか。

○ 改定検討について「**指向性のあるオリジナルデータ**」も必要。自転車にやさしいまちになっているかとか、既存の区分に入らない将来産業の動向とか、ローカルな店舗の移り変わり、祭礼とコミュニティ、人との繋がり等のソフト面でデータを集められないか。

○ 防災の面からも**昼間区民の視点**も必要

【座長】

○ 策定のプロセスにおける**区民等の参画**については、資料には示してあるが、十分な説明がなかった。そのあたりも含めて事務局で整理をしてほしい。

以上